

いまさら聞けない!

.....

クラウドとは？



目次

.....

クラウドとは

IaaS

PaaS

SaaS

IaaS、PaaS、SaaSのまとめ

クラウドのメリット

クラウドの活用例

クラウドの将来性



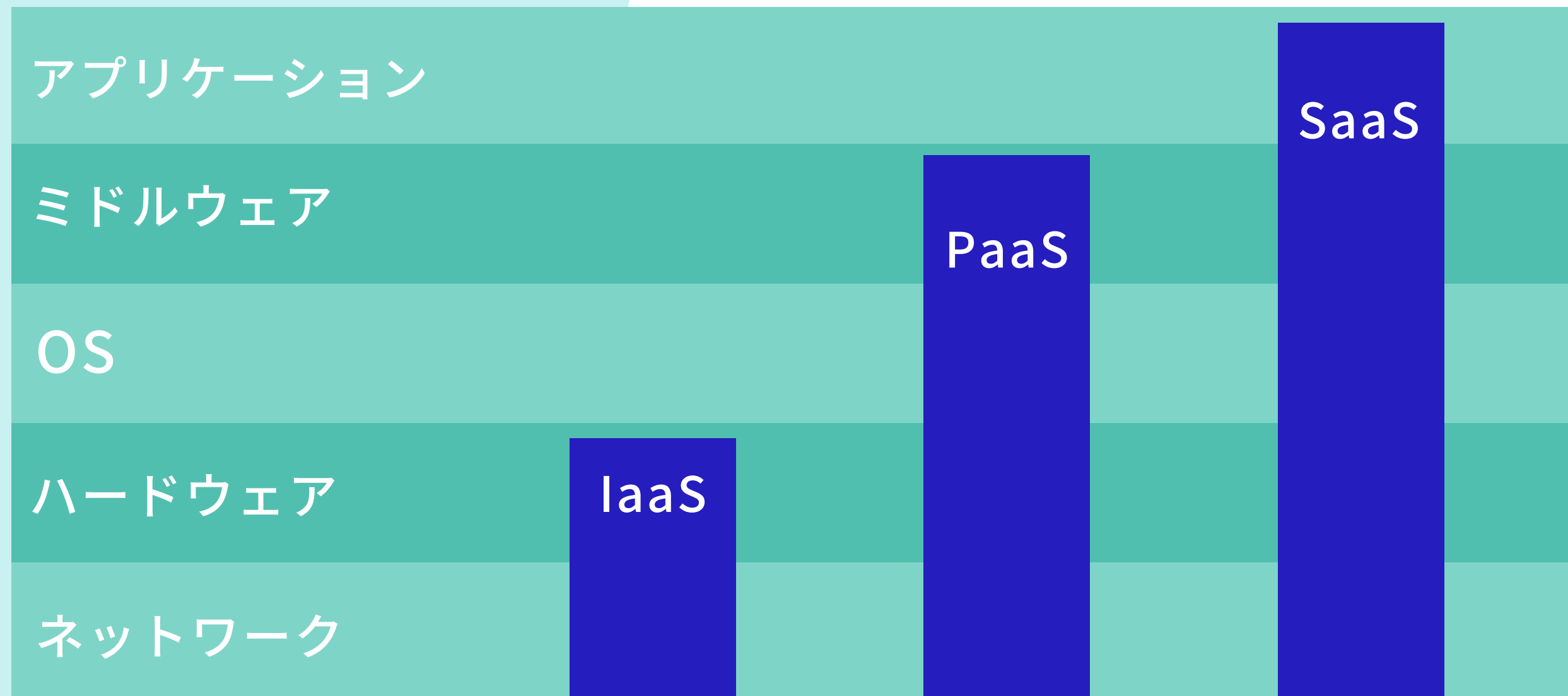
**Q.世の中で多く使われている
「クラウド」という言葉の
意味をご存じですか？**



クラウドとは

インターネットなどのネットワークを介して、サーバーやストレージ、アプリケーションなどのITリソースを利用するサービス形態のことです。「クラウド」という名称は、インターネットなどの外部のネットワークを雲の絵やアイコンで表現していたことに由来します。

クラウドには、以下の3つの主要なサービス形態があります。

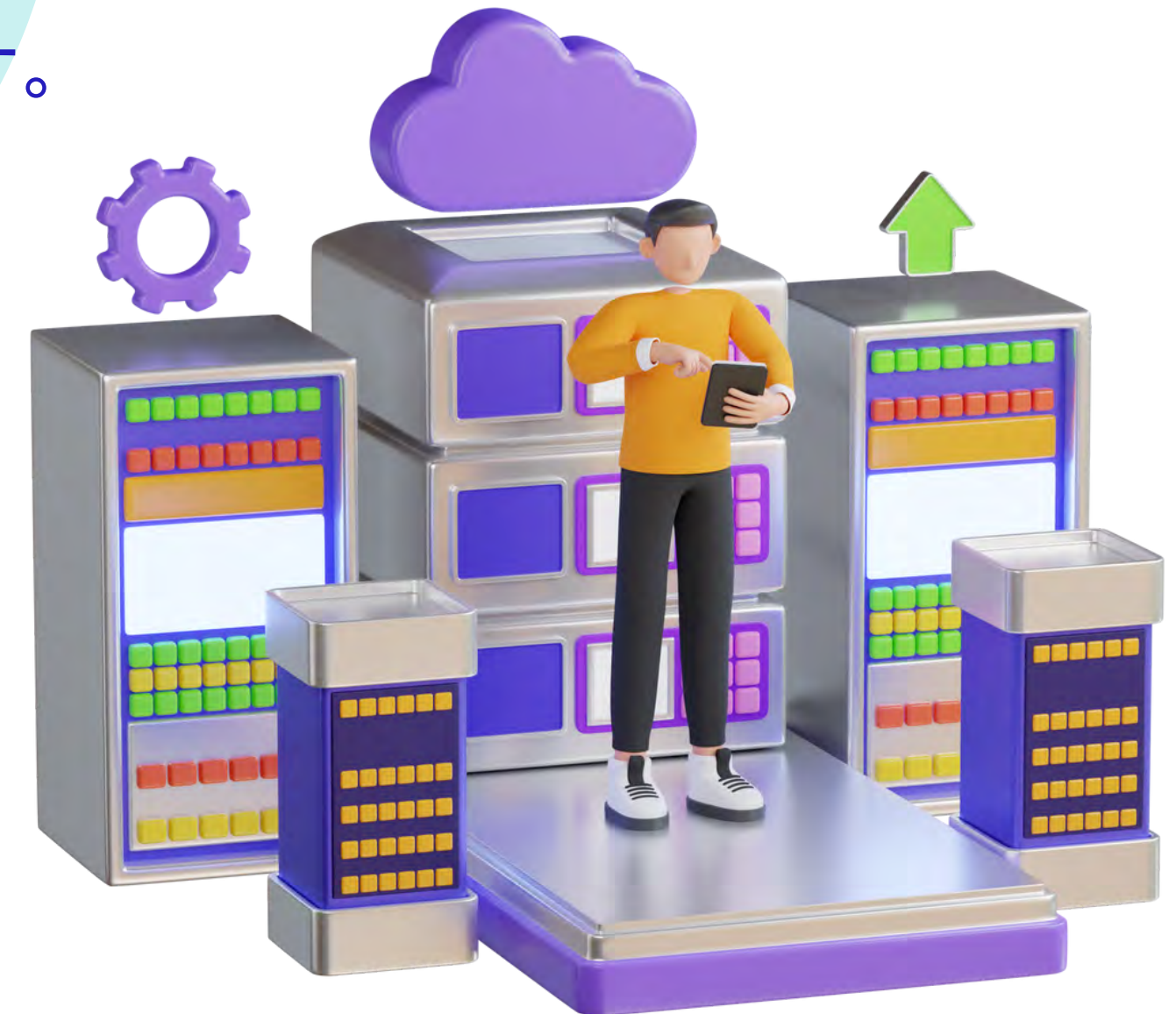


IaaS【アイアース】 (Infrastructure as a Service)

IaaSは、インターネットを介して「コンピューターシステムの構築に必要なインフラ（サーバー、ストレージ、CPU、メモリ、ネットワークなど）を利用することができる」サービスのことを指します。IaaSを利用することで、オンプレミス並みに自由な構築環境と、インフラ部分の導入・保守にかかるコスト削減を両立させることができます。主に、アプリなどの開発者が利用するクラウドサービスです。

IaaSの具体的な例としては、以下のようなものが挙げられます。

- AWS (Amazon Web Services)
- Microsoft Azure
- Google Cloud Platform



PaaS【パース】 (Platform as a Service)

PaaSは、インターネットを介して、「ソフトウェア開発に必要な実行環境を利用することができる」サービスのことを指します。従来のソフトウェア開発では、自分のコンピュータに開発環境を構築して使用する必要がありましたが、PaaSは開発環境を用意する必要がなく、すぐにアプリケーションの開発・実行を開始することができます。PaaSの場合、アプリケーションを開発するうえで、必要な機能がある程度揃っているため、すぐに開発に取り掛かれるというメリットがあります。

PaaSの具体的な例としては、以下のようなものが挙げられます。

- AWS (Amazon Web Services)
- Microsoft Azure
- Google Cloud Functions



SaaS【サース】 (Software as a Service)

SaaSは、インターネット上で使えるインストール不要のソフトウェア、または提供形態のことを指します。従来のソフトウェアは、自分のコンピューターにインストールして使用する必要がありましたが、ソフトウェアのインストールや購入する必要がなく、インターネットを通じてソフトウェアを利用することができるため、すぐに使用できる即時性とどこでも利用できる柔軟性が特徴的です。

SaaSの具体的な例としては、以下のようなものが挙げられます。

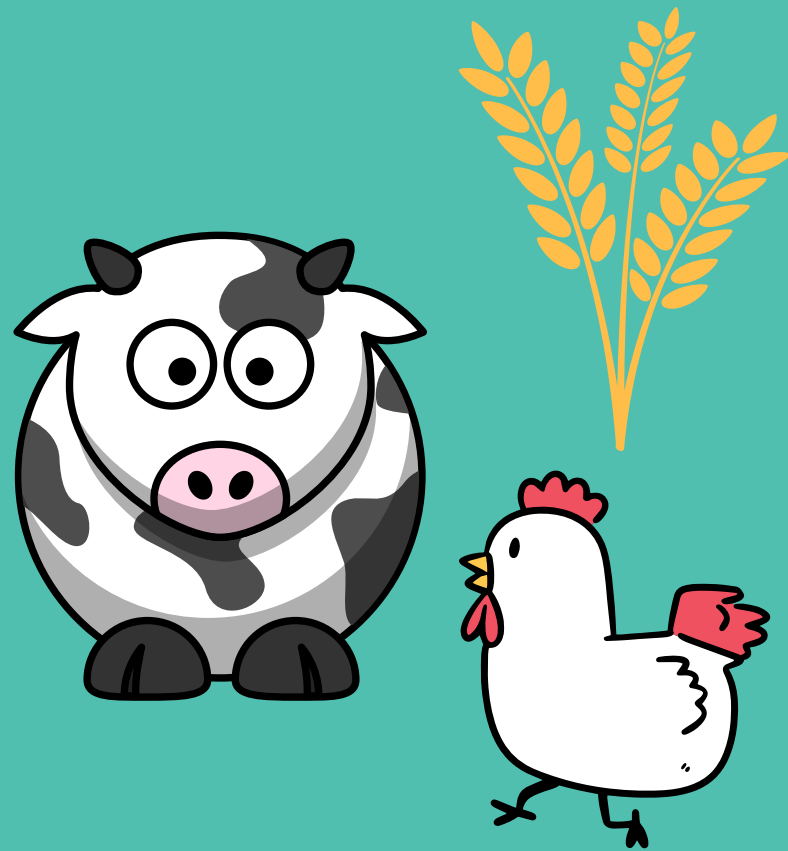
- Microsoft Office 365
- Gmail
- Chatwork



IaaS、PaaS、SaaSのまとめ

これまでの3つをまとめると、以下の通りです。イメージとしては、IaaSがアプリケーションを作るためのシンプルな土台、PaaSがある程度役割を与えられた土台、SaaSが形になったアプリケーションになっているイメージです。SaaSになるにつれて実用的になっていると考えていただけるとよいです。

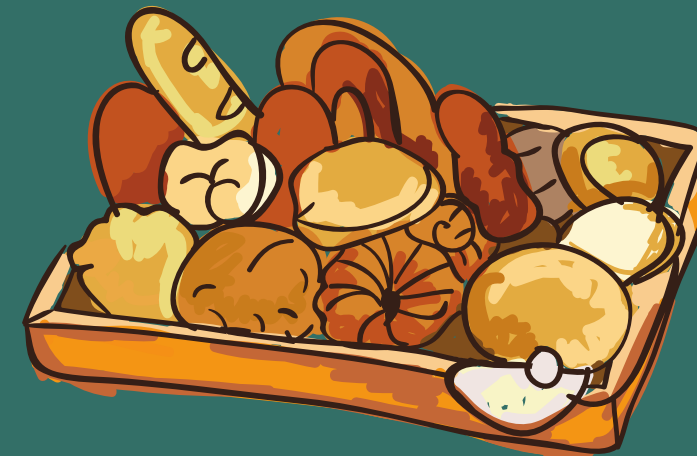
IaaS：システムの土台を作る仕組み



PaaS：ある程度の役割を与えた土台を作る仕組み



SaaS：アプリケーションを提供する仕組み



クラウドのメリット

クラウドを利用することで、以下のメリットがあります。

- 導入コストが安い：ハードウェアやソフトウェアの購入・設置・運用にかかるコストを削減することができます。
- 資産管理が不要：ハードウェアやソフトウェアの管理・保守を行う必要がありません。そのため、サーバーに詳しい人材を確保する必要がなくなります。
- リソースの追加や変更が容易：利用状況に合わせて、リソースを追加や変更することができます。
- スケーラビリティが高い：利用状況に合わせて、リソースを自動的に拡張・縮小することができます。
- セキュリティの強化：クラウド事業者がセキュリティ対策を実施しているため、従来型のIT環境と比べてセキュリティリスクが低いと言えます。
- どこでも使える：インターネット環境さえ整っていれば、どこからでもアクセスできます。そのため、時間と場所を選ばない、柔軟な働き方が可能になります。



クラウドの活用例

クラウドをうまく活用することで、オフィスの問題を解決することができます。

業務の効率化：クラウドは、インターネット環境さえあればどこからでも利用できます。そのため、取引先様との情報共有や出張先からでも、いつもと変わらぬ作業を行えるようになるため、作業に取り掛かれない時間が無くなり、業務が効率化されます。

人手不足解消：インターネット環境さえ整っていればどこからでも作業が行えるため、テレワークや在宅勤務を推奨することで、これまでターゲットにできなかった人材をターゲットとして視野に入れることができます。

省力化：サーバーを利用されている企業様であれば、サーバーメンテナンスの必要がなくなります。そのため、サーバーを管理していた従業員の業務が大幅に減るため、その従業員は別の業務に時間を割くことができるため、結果的に省力化に繋がります。



クラウドの将来性

クラウドは、企業や個人のIT環境を大きく変革する技術です。
今後も、クラウドサービスの利用が拡大していくことが予想されます。

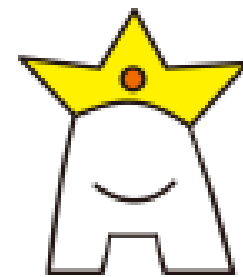
クラウドの将来性としては、以下のことが考えられます。

- クラウドサービスの利用が更に拡大する：クラウドサービスの利便性やコストパフォーマンスが向上し、さらに多くの企業や個人がクラウドサービスを利用するようになると考えられます。
- クラウドが新たなビジネスを生み出す：クラウドを活用した新たなビジネスが生まれ、経済や社会に大きな影響を与えるようになると考えられます。
- クラウドが社会インフラとなる：クラウドが、企業や個人のIT環境だけでなく、社会インフラとして利用されるようになると考えられます。



アプリップリクラウドの詳細は当社サービスサイトへ

<https://applippli.com/>



applippli
アプリップリ

会社HP：<https://applippli.co.jp/>

商品HP：<https://applippli.com/>

Mail：sc-support@applippli.co.jp

TEL：050-5530-6203

